

日本の産業革命は明治二十年（1887）頃より始まったのではないかと思います。その勃興は南千住から始まったといっても過言ではありません。紡績・鉄道・石炭・紙・皮革、その中でも特に紡績は輸出が輸入を追い越していました。

しかしそれを支えた労働者は悲惨な実態でした。農山村から多数集められた労働者は、塵芥の中で長時間労働、劣悪な環境での居住生活を送りました。そのような形で巨額の利益をあげ、カネボウは大企業となりました。南千住のカネボウは製品が毛織物でしたが、

滋賀県長浜市の長浜工場は昭和五年（1930）に操業した絹布工場で東洋一を誇り、町名も鐘紡町と変更した程です。この名称も鐘ヶ淵紡績と鐘紡とカネボウと、南千住の鐘ヶ淵の地名からつけられた会社名です。

さて、明治三十年（1897）頃の紡績工場で働いていた女子従業員さん達に結核が相当広がり始め、急性伝染病から慢性伝染病へと移って行きました。幕末から明治中期頃まで流行したコレラも落ち着いて今度は新しい伝染病結核が、不治の病として恐れられ特効薬もありません。大勢の人を死に追いやりました。

コソ通りにありました柴田病院（現在の城北信用金庫の場所）も結核病院として長く治療にたずさわっていました。私も3人の兄達を結核で亡くしております。

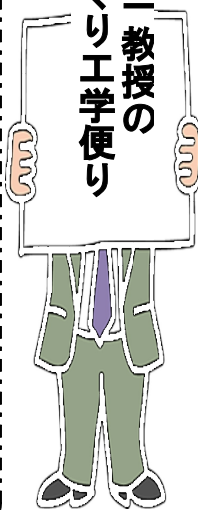
生きる上でお金は重要ですが、社会全体がもう少し『本当の幸せ』を考えても良いのではないのでしょうか。人の真似をするのではなく、自分らしく、無理なく、ゆつたりした生活を過ごしたいと望みます。

まいたうん64号（2004年6月20日発行）より  
杉山六郎さんは入院中でリハビリに励んでおられます。

2004年6月の原稿を再度掲載致しました。

☆六郎が語る☆  
南千住一口話  
特別編 第46回

吉田喜一教授の  
ものづくり工学便り



千住製絨所→荒川工業高校、大日本紡績→  
航空高専

産技高専名誉教授 吉田喜一

被服製造技術を学ぶためドイツに派遣されていた井上省三によって、1872明治12）年千住製絨所が設立されました。陸軍用の布地等に貢献しました。1962昭和35）年に操業停止となり、80余年の歴史に幕を閉じました。跡地は荒川工業高校、東京スタジアムその後スポーツセンター）、南千住警察署となりました。荒川工業高校付近に、製絨所の煉瓦塀が長らく残っていました。しかし、荒川工業高校の改築で大部分撤去されました。現在産業遺構として若干保存されています。スポーツセンター前に井上省三の銅像・記念碑が建っています。東京紡績は1887（明治20）年4月に設立され、1908（明治41）年に創立20周年を記念して、新たに南千住地方（じかた）に橋場工場を建設しました。他社と合併し大日本紡績のちニチボーと改称しました。第2次世界大戦時、東京航空機製作所として軍需に転換しましたが、戦後復元し1962昭和37）年に閉鎖されるまで綿紡工場として存続しました。東京都の都市計画により都に売却し、その一部が航空高専になりました。



混乱から学び、行動につなげる

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。相変わらずの新型コロナウイルス、本当に困ったものですね。私も手持ち無沙汰になってしまい、残念ながらすっかり商売も上がったりですけれども、今は辛抱の時。一人ひとりが不要不急の外出や買い物控え、嵐が過ぎ去るのを待つのみです。以前のように皆様が当店にお越し頂ける、その日を楽しみにしております。（只今当店では営業時間を短縮し特別態勢で営業しております。また、店内備品の消毒を行っております。最新の情報は「メガネのサトウ公式ホームページ」をご覧ください。）

もう一つ、今は学習の時だと思います。遅々とした上の外的な与党の緊急政策と、全く心に響かない批判と揚げ足取りばかりの野党によって見るに堪えない国会。前例主義で硬直化して融通の利かない縦割りの行政。トイレットペーパーや保存食の買い溜めに奔走する人々の姿。一向に解消しない消毒液の品切れ状態。目先のコストを優先し、ほぼ海外生産に依存した代償として露呈した不織布マスクの流通崩壊問題。風評被害のリスクを負ってでも帰国者や軽症患者の受け入れを表明したホテル。一部の地方自治体の首長、民間経営者による的確な判断と優れた施策。危険と隣り合わせで奮闘する、医療・流通・運輸など最前線のスタッフの方々。混乱のコロナ禍が過ぎ去っても、私はこれらを決して忘れず、平時の思考や行動につなげていきたいと考えています。

■メガネのサトウ ■ <https://megane-sato.com>  
南千住5の43の13【東京新聞並び】  
TEL 03（3806）4930

★休業日のご案内★

4月・5月：毎週火曜定休です。なお、ゴールデンウィーク中の5月3・4日は臨時休業とさせていただきます。6日は営業します。

★営業時間のご案内★

※5月10日まで特別態勢：AM10時～PM3時

平日（月～金）：AM9時～PM6時30分

土休日：AM10時～PM5時

消費生活  
アドバイザー  
佐藤祐一郎